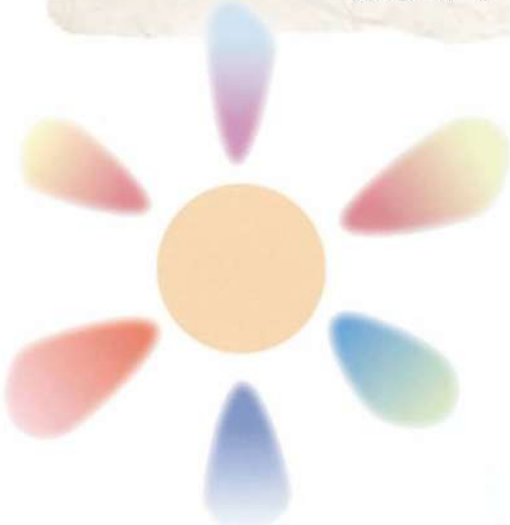


健康教育

— 健康なくして教育はありえない —

- 
- ◎ 安全でおいしい給食を…………… 藤田 義江
提供するために 田代 恵子
 - ◎ 保育園・幼稚園・学校における… 澁江 昌美
感染症予防対策について
～環境整備を中心に～
 - ◎ こどもたちの笑顔を見るために… 藤川 いつ子
～室内環境への取り組み～



「健康教育」

——健康なくして教育はありえない——

1911年、河合グループ創業者である薬学博士・河合亀太郎がかかげた企業理念です。



薬学博士・河合亀太郎

こどもたちのすこやかな成長を願い、より一層お役に立てる情報のご提供・ご提案を目指し、発刊致しております。これからも、創業者・河合亀太郎の理念「健康教育」を大切に伝え続けてまいります。今後ともご愛読のほどよろしくお願い致します。

目 次

3	安全でおいしい給食を提供するために
6	保育園・幼稚園・学校における感染症予防対策について ～環境整備を中心に～
11	こどもたちの笑顔を見るために ～室内環境への取り組み～
15	あらまし

安全でおいしい給食を提供するために



町田市立金森保育園
園長

藤田 義江



町田市立金森保育園
調理師

田代 恵子

当保育園では、0歳の乳児から小学校にあがる前の6歳までのお子さまをお預かりしています。小さなお子さまほど免疫力が弱いので、衛生面に十分気をつけた給食調理を行っています。念入りの手洗いや清潔な身支度での調理、食品の十分な加熱はもちろんのことですが、常に清潔な場所で調理ができるよう、食器具類や調理室内の消毒など、毎日細心の注意を払って行っております。

今回は、当園で調理の際に行っている衛生面での取り組みを中心に、述べたいと思います。

2. まな板・包丁・ボールなどの調理器具は、各食材毎に分けて使用する。（例：肉用まな板・野菜用包丁など）
3. 離乳食においては、より衛生面に気をつけ、まな板などの調理器具は使用の度にエタノール製剤で消毒後、流水で十分にすすぐか、熱湯による消毒後使用する。

食器具類の消毒について

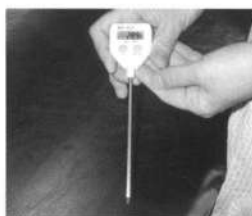
1. 食器具類は80度以上に設定した熱消毒保管庫で、1時間の消毒を行う。また、保管庫に入れられない材質のものは、塩素系殺菌剤やエタノール製剤での消毒後、流水で十分にすすぐ。



熱消毒保管庫

調理・盛りつけについて

1. 食材の加熱が十分かを確認する。例えば揚げ物の場合、中心部が75度で1分以上加熱できているか、食材の中心温度を測る。

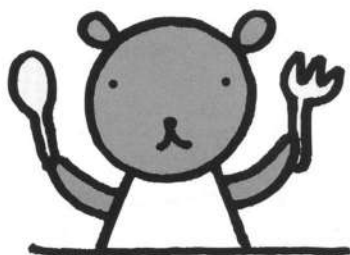


食材用温度計

2. 調理済み食品の盛りつけを行う場所は、下処理を行う場所とできる限り離し、相互汚染防止に努める。また、和えたり盛りつけたりする時は、使い捨てのポリエチレン製衛生手袋を使用する。



ポリエチレン製衛生手袋を使用した盛りつけ



調理室内・調理員について

1. 調理室内は清潔に保てるよう、ガス台・調理台・配膳台・食器棚・冷蔵庫などの拭き掃除を毎日行う。また、保育園では調理を行わない日はないため、少しでも空いた時間を利用して、換気扇などの毎日手の届かない場所はこまめに清掃する。
2. 調理室内は専用の履物を使用する。
3. 毎日の水道シンクの清掃時には、排水口・ゴミ受け・水道栓コックも併せて洗浄殺菌する。朝と夕方の2回、水道水の塩素測定を行い、正常値であることを確認する。
4. 調理員は毎月細菌検査を行う。
5. 調理時の手洗いは、薬用石けんとブラシでの洗浄後、逆性石けん（※1）により殺菌・消毒を行う。

その他にも細部にこだわって、常に衛生面に気をつけながら日々安全でおいしい給食を提供できるよう、取り組んでいます。

※1 逆性石けん・・・通常の石けんは陰イオンなのに対し、逆性石けんはイオン性が逆（陽イオン）のためこのような名称がつけられています。逆性石けんは汚れを落とす効果はほとんどありませんが、殺菌・消毒に優れています。



調理室専用の履物



残留塩素測定器

こどもたちについて

このようにしてできあがった給食を食べる前に、こどもたちは薬用石けんを使用しきれいに手を洗います。こどもたちの手洗いに対する意識を高めるため、学期に1回程、看護師からこどもたちに正しい手の洗い方や手洗いの大切さの話をしています。例えば、手を洗わないで食べると、手についたバイ菌が体の中に入り、病気になってしまうなど、こどもたちにわかりやすく、そして手洗いが習慣になるようにしています。しかし乳児にとっては、まだまだ一人でしっかり手を洗うのは難しいため、保育士が手洗い場に一人つき、個々に指導しています。

当園では乳児組（0～2歳）は各部屋で給食を食べますが、幼児組（3～6歳）はランチルームで交代で食べます。幼児組は自主性を育てるため、セルフサービスにしており、こどもたちが自分でテーブルまで運びます。

こどもたちが、おいしそうに楽しく給食を食べている姿を見ると、非常に嬉しく感じます。

これからも衛生面に細心の注意を払い、こどもたちがマナーを守りみんな笑顔で食事できるように、安全でおいしい給食を作っていきたいと思います。



食事の前にはまず手洗い



こどもたちが運びやすいように並べます



薬用石けんをつかってきれいに手を洗います



セルフサービスの風景

保育園・幼稚園・学校における 感染症予防対策について ～環境整備を中心に～

東京都健康局
保健師

澁江 昌美



今回は、感染症予防対策の中でも「手洗い」「バリア」について取り上げました。今回は、「環境の整備（清掃、消毒）」を中心に日頃の注意点を述べていきます。

環境整備について

口や鼻などに病原体が入ることにより、感染はおこります。ちりやほこりは、いろいろな病原体の巣になりやすいので、室内環境を整えて、感染予防に努めましょう。

（１）掃 除

各保育室・教室・廊下など、掃除しやすいように整理整頓をしておきましょう。

掃除をするときは、ちりやほこりが舞い上がるので、必ず窓を開けましょう。

また、ほこりを取り除くために拭き掃除もしましょう。

※図１ ぞうきん・モップ等での拭き方参照

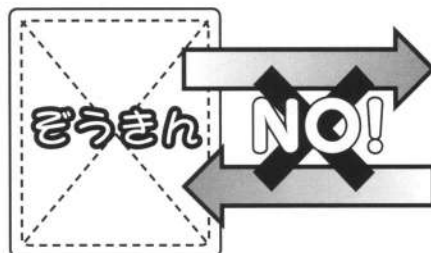
（２）換気・湿度管理

常に空気をきれいに保つよう、定期的に換気をしましょう。（咳をしている園児や児童がいる場合は、休み時間毎など、頻繁に換気をしましょう。）

インフルエンザウイルスは、湿度50%以上では生存率も低いので、冬場など空気が乾燥している時は加湿器を使用するなど、湿度管理にも気を配りましょう。

図１ ぞうきん・モップ等での拭き方

一方方向にふくことがポイントです！

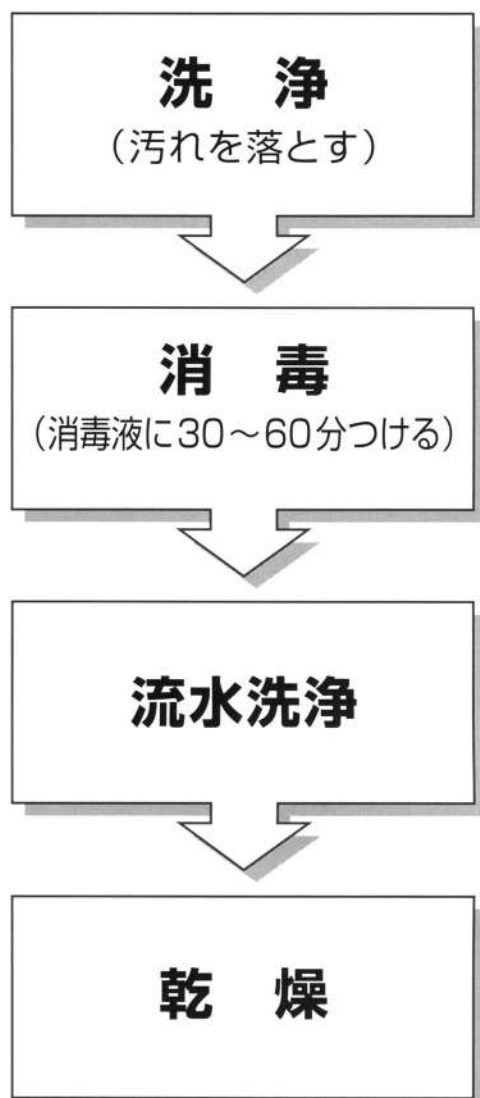


消毒について

通常の衣類やリネンなどは、家庭用の石けんや洗剤で洗濯をし、天日干しなど、よく乾燥させれば十分です。

もしも、吐物・便・血液などで汚れた場合は、念のため「感染の可能性がある」と考えて、まずは洗って汚れを落としてから、次の方法で消毒しましょう。

(1) 消毒の手順



(2) 消毒薬について

☆対象・病原体の種類により使用する薬品は適切に選びましょう。

☆塩素系の消毒薬は多くの細菌・ウイルスに有効です。

☆最低2種類以上の消毒薬を常備しておきましょう。(例えば、塩素系消毒薬に適さない金属を消毒する場合に備えて、他の消毒薬を常備しておく。)

※表1 消毒薬一覧参照(9頁)

(3) 消毒薬の注意

☆消毒薬の保管場所は、職員全員が知っており、日の当たらない場所で、こどもの手が届かず、カギのかかる場所がベストです。

☆消毒薬の使用温度は室温が効果的です。

☆消毒薬は適正な濃度と消毒時間を守りましょう。

☆消毒薬の有効期限を確認しましょう。

☆消毒する対象により、濃度が異なります。薄める時は、製品の説明書をよく読んで正しく使用して下さい。

☆消毒薬の種類によっては混ぜ合わせると大変危険なものもあります。製品の説明書をよく読むなど十分注意してください。

消毒薬の取扱いには
十分注意しましょう！



(4) 希釈方法

例：次亜塩素酸ナトリウム6%でキャップ1杯6mlの場合

<手指の消毒（おしぼり等）の場合>

濃度	0.02%
希釈倍数	300倍
目安	水1リットルに対して キャップ1/2杯

<家具・器具・物品の消毒の場合>

濃度	0.03%～0.06%
希釈倍数	100～200倍
目安	水1リットルに対して キャップ2杯弱～1杯弱

その他の感染症予防の ポイントについて

保育園・幼稚園・学校などで実践できる感染症予防対策のポイントを以下にまとめました。

- (1) 「毎日の園児・児童の健康チェック」
最低でも体調不良欠席の連絡を受けた際は、必ずその症状を聞くこと。
- (2) 「職員の健康管理」
各職員は定期健康診断を必ず受けること。
具合が悪い時は無理して出勤しなくてすむ職場体制が必要です。
- (3) 「保護者との連携」
家庭と施設（幼稚園・保育園・学校など）との二重生活の場があるこ

どもたちにとって、最も重要な視点です。

日々の感染症予防対策が、施設のみでなく家庭においても実行できるよう保護者に働きかける、欠席理由の症状を保護者から施設に伝えてもらう、施設で流行している感染症の情報を保護者に提供する、万一集団感染が起こったときは保護者への説明会を開くなど、相互の信頼関係の構築を心がけることが重要です。

(4) 「園（校）医との連携」

既に連携されていることが多いと思いますが、施設内では解決できない問題（例えば、感染症の疑いのある症状が見受けられるにもかかわらず治癒証明書がでてきているなど）について相談することも必要です。

(5) 「職場内研修」

感染症の講義だけでなく、実際教室で嘔吐してしまったこどもがいた時、どのように対処するかなど、シミュレーションを行うことも大切です。

(6) 「感染症が発生した時の施設内体制の確立」

いざという時に備えて、施設内での報告体制の確立や発生時の対応について、どのような手順が必要かをフローチャートにしておくなど、どの職員でも対処できるようにマニュアル化しておくのも良いでしょう。

今回は、標準予防策として、「環境の整備（清掃、消毒）」について具体的に述べてきました。実際の場面において少しでも参考になれば幸いです。

◆表1 消毒薬一覧

消毒対象物						消 毒 剤	対象微生物				
環 境	器 具		手 指 皮 膚	粘 膜	排 泄 物		M R S A	結 核 菌	真 菌	ウ イ ル ス	一 般 細 菌
	金 属	非 金 属									
○	○	○	○	○	×	「逆性洗剤」 成分：塩化ベンザルコニウム 主に家具・床などの消毒に用いることが多いが、皮膚粘膜に対する刺激性が少なく臭気もほとんどないため、生体消毒にも使用可能である。	△	×	△	×	○
△	○	○	○	×	×	「アルコール」 成分：エタノール、イソプロパノール 生体・非生体のどちらにも使用される。揮発性が高いため乾きが早く、使用しやすい。	○	○	△	△	○
○	○	○	○	×	×	「クロルヘキシジン」 商品名：グルコン酸クロルヘキシジン 皮膚に対する刺激が弱く低毒性であるため、手指・傷口などに用いられることが多い。ただし、粘膜・耳への使用は禁忌。	△	×	△	△	○
△	×	○	△	△	△	「塩素系」 成分：次亜塩素酸ナトリウム 細菌に対して速効的な殺菌力を発揮し、ウイルスに対しても非常に有効である。 金属に対しては腐食性が高いため使用は避ける。	○	△	○	○	○

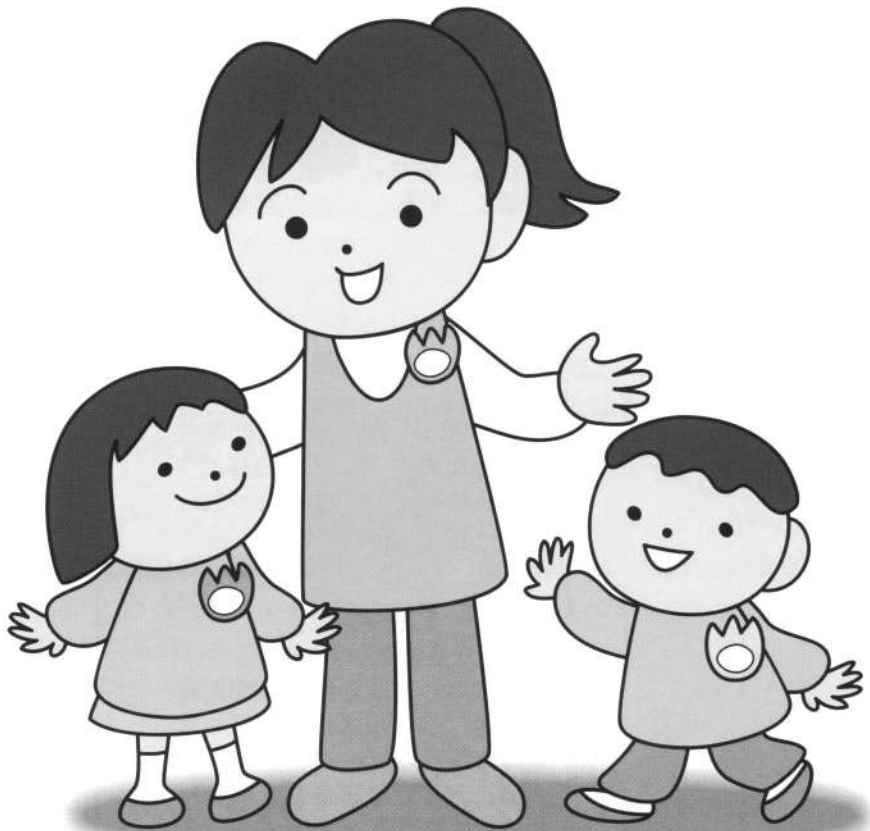
<参考及び引用文献>

- 「手洗いコンプライアンスを高める」
洪 愛子 著
メヂカルフレンド社 看護技術, 2001,
VOL.47, No.4

- 「感染症の調査と危機管理のためのマニュアル」
編集・発行 東京都衛生局医療福祉
部結核感染症課
平成12年3月発行

- 「東京都感染症マニュアル」
編集・発行 東京都衛生局医療福祉
部結核感染症課
監修 東京都新たな感染症対策委員会
平成12年3月26日発行

- 「在宅ケアにおける感染症予防マニュアル」
編集・発行 東京都多摩立川保健所
平成14年3月発行



こどもたちの笑顔を見るために ～室内環境への取り組み～

平和保育園
園長

藤川 いつ子



東京都練馬区の南東に位置し、中野区と隣接した地域にある平和保育園は、今年創立50周年を迎えた歴史ある園です。狭い園庭ではありますが、四季を通じて花が咲き、蝶・蝉・トンボ・てんとう虫・かたつむり・蟻など色々な虫たちがこどもたちの目を楽しませてくれます。特にこどもたちが好きな虫はだんご虫です。バケツを持ってだんご虫捕りをするこどもたちの姿は、毎年繰り返される当園の風物ともいえます。周囲には学校や公園もあり、緑も比較的多く、散歩にもよく出かけます。都会にしては自然と触れ合う機会が多くあり、恵まれた環境にあるといえます。

周囲の環境だけでなく、園舎内でもこどもたちが居心地よく、ホッとくつろげる園にしたいという思いから室内の環境衛生には気をつけています。当園で実践していることがいくつかありますので、ここでご紹介したいと思います。



四季を通じてこどもたちを楽しませてくれる園庭

徹底した室内清掃

当園では、上履きを使用していません。これは家庭と同じように床の上で寝転がってもいいように……。との思いからです。そのためには常に床（フローリング）をきれいに保っておかなければなりません。職員による毎日の清掃は勿論のこと、業者をお願いをして毎月1回の定期クリーニングを行っています。業者をお願いしている場所は、私たちでは行き届かない部分、例えばガラス窓・手すり・ノブのふきあげ、トイレの細かい部分の洗浄、床などの徹底清掃です。きれいになるのは非常に気持ちがよく本当に感謝しています。毎月のことなので業者の方々ともどもたちも顔なじみになり、楽しい言葉のやりとりも見られます。

業者には2001年3月の床クリーニングから始まり、その後砂場の抗菌作業、そして毎月の定期クリーニングをお願いするようになりました。2000年までぎょう虫検査の陽性者が毎回1人から数名いたのですが、その後は年2回の検査でも1人も陽性者が出ていないのもこれと関係しているのかもしれません。

園舎内をくまなく清潔に保つことの重要性を改めて感じました。

保育室内の換気について

本園の園舎は平屋木造と鉄骨造りの1階部分を使用しています。木造の北側にある保育室は他の部屋に比べ空気がこもりがちで湿気もあり、押入れにカビが生じました。

そこで壁の押し入れの全面張替えと床下には活性炭を敷き詰めました。そして、常時稼動する床下用換気扇を取り付け、空気の流れを改善しました。今までのその部屋は、他の保育室と比べると、特に冬は寒く夏は暑く感じられました。しかし、床暖房を敷設し、空気清浄機も取り付けたことで、以前に比べるとぐっと快適になりました。

こどもたちの健康維持のためには常に十分な換気を心掛けたいものです。

こどもの身体的衛生について

次に手洗いについてですが、数年前の全国でのO-157の食中毒発生時にはすぐに当園も手指消毒器を購入しました。もちろん食事の前には手洗い・消毒をきちんとさせ、手拭はペーパータオルを使用しています。さらに、職員は手指消毒乾燥機も使用しています。また当園では、暑さ対策と衛生面から、汗をかいたこどもたちへのシャワーのケアも行っています。何といても練馬区は東京一気温が高いといわれており、真夏の暑さたるものや寒いものがあります。そんな日は、園庭に取り付けている温水シャワーで身体や頭を毎日洗ってあげています。先生たちが汗をかきながら、こどもたち一人ひとりを丁寧に洗っている姿には頭が下がります。



砂場



常時稼動する床下換気扇



業者による砂場の抗菌作業<写真は作業例>



床暖房と空気清浄機で快適な保育室

10年程前、アタマジラミが流行したことがあります。その当時、当園でも登園してくるこどもたちの髪の毛を見て卵がついていれば1本1本手でとってあげていました。卵は薬品では死なず、シャンプーしても取れない厄介なものでした。保護者も職員もそれまでアタマジラミを見たこともなく、気が付かなかったため、すぐに広がってしまいました。こうした経験を考えると、早期発見が感染の流行を防ぐ一番の方法といえます。そのためには、保護者の理解と協力が必要不可欠です。近年も周囲で発生していると耳にしましたが、努力の甲斐もあり幸い当園では確認されていません。

こどもたちの身体的衛生を保つためには園でのケアだけでなく、園と保護者との間で連携ができてこそ、的確な対応ができるのだと思います。

その他の取り組み

こどもたちが気持ちよく過ごせるよう、お昼寝の時のために遮光カーテンを取り付けたり、室温調節にも気をつけています。またエアコンのフィルターも毎週清掃し、エアコンクリーニングは年に数回業者をお願いをしています。

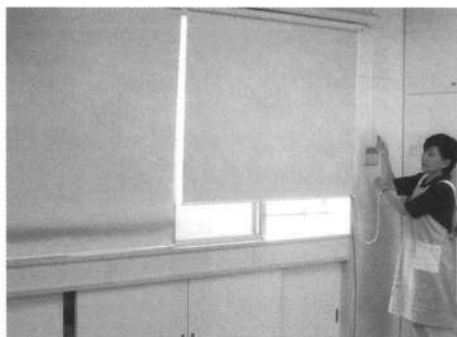
その他、アレルギー児への対応として、シックハウス対策の建材やワックスなど薬品への配慮、安全な水の確保、害虫の駆除なども気をつけています。



職員用手指消毒乾燥機



こども用手指消毒器



遮光カーテン



ペーパータオルを常備した洗面所



温水シャワー



気持ちよくお昼寝

これらの環境衛生は、私たちにとっては
当たり前のことをやっているだけで特別な
こととは思っていません。行き過ぎは禁物
ですが、こどもたちが気持ちよく快適に、
そして良い笑顔で元気よく過ごせるような
環境をこれからもずっと整えてあげたいと
思っています。



業者によるエアコン
クリーニング作業
<写真は作業例>



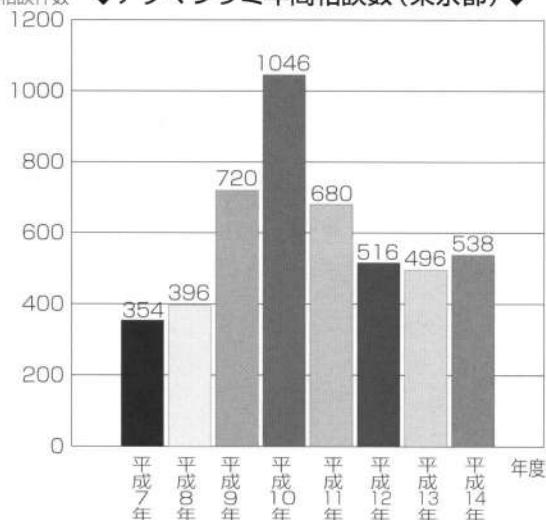
みんな仲良くお食事



楽しいプール遊び

参考：アタマジラミについて

相談件数 ◆アタマジラミ年間相談数(東京都)◆



※東京都福祉保健局調べ(年間の都内の区市町村の役所と保健所によせられた相談数の合計)

近年、アタマジラミの発生は数多く報告されています。衛生的な日本でなぜアタマジラミが復活したのでしょうか。昭和46年以降塩素系の強力な殺虫剤が使用禁止になったこと、海外との交流(旅行など)が活発になったことなどが原因ではないかと言われています。

不潔にしているから感染するのではなく、おもに頭と頭の接触によりうつります。そのため、顔や頭を寄せあって遊ぶ幼稚園児、保育園児や小学校低学年の児童で発生が増加しています。

こどもに感染が確認された場合は、アタマジラミについて正しい知識をもって、こどもたちの心を傷つけないようにしましょう。

保護者と施設が連携をとり情報を共有化し、的確で迅速な対応をすることが重要です。対処方法についてはお近くの保健所などにご相談されてはいかがでしょうか。

■執筆者紹介

藤田 義江（安全でおいしい給食を提供するために）

浜松短期大学幼児教育科卒業。現在、町田市立金森保育園に園長として勤務。
「地域に根ざした公立保育園。子育てに優しい街づくり。」をモットーに保育実践中。

田代 恵子（安全でおいしい給食を提供するために）

1998年より町田市立金森保育園に調理師として勤務。安全でおいしい給食の提供だけでなく、こどもたちに食の関心を高めてもらうため、日々食育にも取り組んでいる。

澁江 昌美

（保育園・幼稚園・学校における感染症予防対策について～環境整備を中心に～）

千葉県保健婦助産婦大学校（現 千葉県医療技術大学校）保健学科卒業後、東京都衛生局に勤務。東京都保健所勤務等を経て、2003年4月より東京都健康局島しょ保健所八丈出張所に勤務。

藤川 いつ子（こどもたちの笑顔を見るために～室内環境への取り組み～）

1972年から1976年まで平和保育園勤務。その後、2年間で他園で勤務し、再び1978年より平和保育園へ。1991年に同保育園園長に就任。

■協力園

金森保育園（東京都町田市）・平和保育園（東京都練馬区）＜50音順＞

■「健康教育」あらまし

こどもたちのすこやかな成長を願って新創刊された季刊誌「健康教育」。
1956年に創刊以来、創業者・河合亀太郎の信念を伝え続けております。
読者対象／日本全国の小中学校・幼稚園・保育園の学校長や園長先生を始めとする先生方・保健主事・養護教諭・給食関係者。その他、文部科学省・都道府県教育委員会・団体など。

平素より「健康教育」をご愛読頂きまして、誠にありがとうございます。

編集部では、読者の皆さまにとって役立つ誌面づくりを目指しております。
今回149号では、食事面、室内などの環境面の衛生管理について取り上げました。皆さまの実践されている健康教育の参考としていただけたら幸いです。

今後、ご覧になりたい内容やテーマ、また各園・学校紹介（例：当園では、「健康教育」の一貫として、このようなことを行っています等）などご意見・ご感想がありましたら是非お聞かせください。皆さまとよりよい「健康教育」を創ってまいりますので、ご協力いただきますようよろしくお願い致します。
なお、お問い合わせは以下の連絡先までお願い致します。

お問い合わせ・ご連絡先

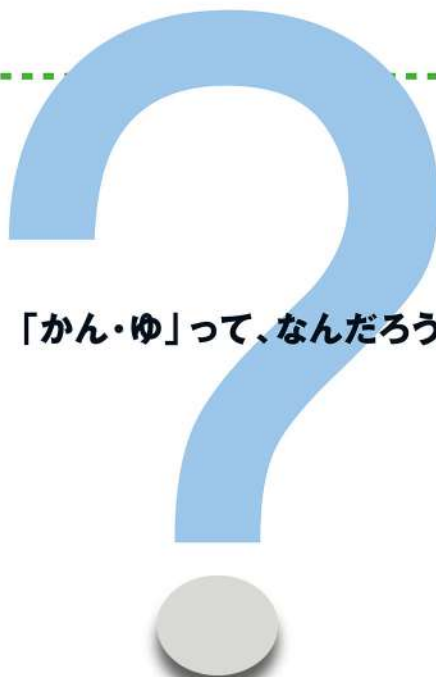
河合薬業株式会社 「健康教育」編集部

〒164-0001 東京都中野区中野6丁目3番5号

TEL：03-3365-1156（代） FAX：03-3365-1180

E-mailアドレス：genkikko@kawai-kanyu.co.jp

ホームページアドレス：http://www.kawai-kanyu.co.jp



「かん・ゆ」って、なんだろう。

それは「元気っ子ビタミン」。



カワイ肝油ドロップC

ビタミンA+D+Cが
入っています。



カワイ肝油ドロップM

ビタミンA+D+カルシウムが
入っています。